



山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41
TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699
URL:<http://www.mokusankyo.jp>
E-mail:yamawood@mokusankyo.com

目次

1. 知事との意見交換会出席!!
2. 村総ロビー県産広葉樹材展示!!
3. 緑環境税評価検証委員会出席!!
4. 森林都市木造化推進会議出席!!
5. R2木材利用優良施設コンクール最高賞
6. 令和2年度県単独9月補正予算動く!!



1 知事との意見交換会出席!!

10月8日、松田理事長と相田副理事長らが吉村美栄子知事と林業・木材産業の現状と課題について、意見交換を行った。松田理事長は、「知事がこれまでに進めてきたやまがた森林ノミクスの推進に感謝しており、高性能林業機械の導入や集成材工場・木質バイオマス発電施設の誘致等により、県産木材を使う機運は着実に高まってきている。また、オリンピック・パラリンピックの選手村商業施設への県産製材品の納入や寒河江市の県園芸試験場の木造化、県庁ロビーの木質化や県総合文化芸術館の内装木質化に取り組みされるなど業界を代表して御礼申し上げます。業界の現状については、新型コロナウイルス感染症の影響により、新設住宅着工数の減少や大手合板や集成材工場の減産化等により先行き不透明感が続いている状況であるが、適正な森林整備については、地球環境維持や資源の循環利用の立場から止めることのできない事業と考えている。県当局に県有施設等の木造化・木質化をさらに促進し、県産木材の需要を一層喚起する取り組みの強化を要望したい。」と結んだ。相田副理事長は、「県の広葉樹利用拡大プロジェクトについては、県産広葉樹無垢材の建築資材としての有効利用や首都圏など県外への普及推進策に積極的に協力していきたい。また、県の指導をいただき認証を受けたJAS広葉樹製材により、広葉樹の良さ(色合い・強度・肌ざわり)に品質も加えPRしたい。」と事業の継続を強く要望した。他に県森連と県産木材利用センターも出席し意見を述べた。



2 村総ロビー県産広葉樹材展示!!



10月14日、村山総合支庁森林整備課(石川浩課長)では、1階正面玄関ロビーにて、管内の広葉樹製材品等の展示を始めた。「10月は木づかい運動月間です」のスローガンと共に、主にアイタ材木店(山形市)の協力により、広葉樹のフローリング、積み木などが説明パネルと共に展示されている。さっそく来庁者が足を留めて実物に触れながら見入っていた。この展示は今月末まで開催している。木産協からは、説明パネルとPR用看板、ブナ・ナラの原木と苗木、種子を提供している。

3 やまがた緑環境税評価検証委員会出席!!

10月14日山形市の遊学館で第2回やまがた緑環境税評価検証委員会が林業・森づくり団体の関係委員10名が出席し開催された。木産協からは松田理事長が出席し、「県内には荒廃した森林がまだまだ沢山ある。緊急性の高い荒廃森林の整備のため、緑環境税の継続は必須である。」とした。他の意見として、コロナ禍で周知イベントの中止が続いているので、工夫が必要である。ICT教育が急激に進展する中、自然体験が相対的に減少している。この辺を踏まえたソフト事業の展開に期待する。などの意見が出された。



4 森林都市木造化推進会議出席!!



10月01日東京永田町自民党本部704号会議室にて、森林を活かす都市の木造化推進議員連盟・推進協議会合同の令和2年度第3回総会が開催され、本県から松田理事長が出席した。冒頭、吉野会長が非公共非住宅分野での木造化の法改正に臨むと力強く挨拶し、続いて林野庁長官が概算要求の基本方針を説明し、林野庁と住宅局から担当課長が令和3年度予算概算要求の概要について説明があった。本県出身自民党議員では、事務局次長を鈴木憲和代議士が担当している。遠藤利明代議士は発起人メンバーとなっている。

5 令和2年度木材利用優良施設コンクールで最高賞受賞!!

内閣総理大臣賞

白鷹町まちづくり複合施設 (山形県白鷹町)



<施設概要>

町内で生産・加工したスギ材をふんだんに用いた複合施設(役場庁舎、図書館、中央公民館)。冬季の降雪による根曲がりのため採材寸法が限られる町産材を最大限有効活用することができる構造を採用。1.5mの積雪荷重や大空間の実現などの各種条件を、折線状のアーチ構造や格子耐力壁などを組み合わせることにより達成。

川上から川下までの地域関係者が連携することにより、木材利用量1,712㎡のうち約75%に町産スギ材を活用。



施主	白鷹町
設計者	株式会社環境デザイン研究所
施工者	那須・鈴木 特定建設工事共同企業体
主要構造	木造
階数	地上2階
延べ面積	4,558㎡
主な使用樹種	スギ、ヒノキ、タモ

6 令和2年度県単独9月補正予算動く!! (虫害予防支援策)

10月20日付で令和2年度やまがたの木流通対策緊急支援事業費補助金交付要綱及び同実施要項が制定通知された。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、経済活動全体が停滞し、木材産業においては製材品の需要の急激な減少に伴う丸太需要の減退を受け、素材生産現場において販路を失った原木が林内や土場に滞留し、事業の継続に大きな影響が生じていることから、需要回復時の出荷再開へ向けた、滞留している原木の品質保持を支援するため、素材生産業者が行う原木の虫害予防に要する経費に対して補助するもの。

補助要件は事業量100m³以上で、入荷制限等により土場等に一時保管している原木で、販売先が未確定であること。(販売予定のものに限る)一時保管している原木の品質保持のための虫害予防措置(薬剤散布)の経費で、補助率は定額270円/m³(または、実費分)とする。ただし、7月1日から9月末日までの取組に要した経費を対象とする。

該当する事業者は、要綱・要領を送付しますので木産協事務局までお知らせください。

7 11月以降の行事予定

日程	行 事 名		出席予定者
11.11	専門職大学村山地域協議会	村総2F講堂	専務
11.16	専門職大学プロジェクト会議	あこや会館201	専務
11.18	全国木材組合連合会臨時総会	東京 木材会館	理事長
11.19	森林ノミクス推進協議会	土地会館会議室	専務
11.24	美しい森林づくり推進大会(林材業年次大会)	パレス	理事長
11.25	合法木材研修会	パレス	理事長等

8 日本百名山シリーズ紹介(大雪山 旭岳)

北海道の最高峰大雪山の旭岳(2,291m)、有名な姿見の池周辺は活火山の様相で、迫力ある噴煙が数箇所から立ち上がる。札幌から特急カムイで90分、旭川市街地からもその山容が目の前に大きく広がる。旭川郊外の道道は山際まで約10km真っすぐ続いており、先の信号が霞んで見えないほどの直線道路である。山間部に入るとキタキツネ親子が道道を闊歩している。旭川から車で60分、ロープウェイで10分、姿見の駅から山頂まで150分の登山である。駅周辺のお花畑以外は



砂礫の山をひたすら登ることになるが、時折りエゾシマリスが道案内をしてくれる。山頂からは、360度ビューで北海道の真ん中であり、十勝岳、トムラウシ岳、阿寒岳などは確認できた。日高、知床、利尻等は見えた気がする程度で流石に北海道はでかい。景色と共に、この山はヒグマ出没地域をロープウェイで越えるため、北海道では珍しい安全安心の山旅であり、一番簡単に登れる山でもある。食事も何でもおいしいし、温泉も旭岳温泉や天人峡温泉等有名なお薦めの宿ばかりである。

9 県産広葉樹展示販売会開催!! (県広葉樹利用拡大協議会)



◆ 展示内容

床材、カウンター材、テーブル材等

樹種：県産ブナ、ナラ、サクラ、ホウノキ、クリ、オニグルミ、シナノキ他



主催：山形県広葉樹利用拡大協議会、(有)アイタ材木店

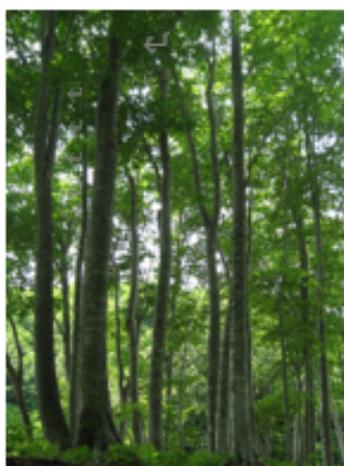
後援：山形県木材産業協同組合、やまがた公益の森づくり支援センター

10 県産広葉樹関連イベント案内

広葉樹を暮らしに活かすシンポジウム ～広葉樹材利用で地域を元気に!!～

令和2年11月22日(日) 10:30～17:00

山形県山形市 山形テルサ アプローズ



10:30～10:45 開会式

10:45～12:00 基調講演

演題「近年の広葉樹をめぐる動向と利用の可能性」

ノースジャパン素材流通協同組合 理事長 鈴木信哉 氏

13:00～14:40 報告

① 広葉樹を暮らしに活かす山形の会の取組み 代表 佐藤恒治

② 長井市の広葉樹二次林の目標林型と抜き伐り材の利用

山形の会共同代表 清和研二(東北大学名誉教授)

③ スノービーチを使った取組み ㈱朝倉家具 専務取締役 朝倉佑介

④ 木を活かし木の良さを伝え続ける ㈱オグラ 代表取締役 小椋敏光

14:40～15:30 展示解説コアタイム

㈱朝倉家具、㈱オグラ、㈱アイタ工業、家具工房モク、ワンツ〜、㈱アトリエ椽、

㈱ニューテックシンセイ、杉山木工、sato wood studio

15:30～16:45 パネルディスカッション

16:45～17:00 まとめ 閉会

参加を希望される方は、裏面申込書により11月13日(金)までにお申し込みください。

主催：広葉樹を暮らしに活かす山形の会

後援：(公財)山形県みどり推進機構、山形県木材産業協同組合、山形県広葉樹利用拡大協議会、置賜林業推進協議会

問い合わせ先：広葉樹を暮らしに活かす山形の会 事務局 佐藤恒治 090-9031-3713

11 住宅着工状況

令和2年9月期の県内新設住宅着工戸数は407戸となり、対前月比75.4%、対前年同月比76.4%、前年累計比は85.8%となり、再び減少した。全国的にも9.9%減となり、持ち家は14.2%減と上半期で過去最低となった。県内では寒河江市・長井市・鶴岡市が微増。

1 県内新設住宅着工戸数(令和2年9月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
22年	4,125	2,533	1,140	40	412	3,777	348	3,319	80.5%	2,479	112	728
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
28年	5,675	3,046	1,930	16	683	5,592	83	4,875	85.9%	3,370	109	1,396
29年	5,516	2,976	1,837	50	653	5,473	43	4,661	84.5%	3,366	98	1,197
30年	6,362	3,160	2,322	25	855	6,039	323	5,015	78.8%	3,367	128	1,520
31年	5,755	2,776	1,907	27	1,045	5,686	69	4,697	81.6%	3,358	110	1,229
9月	533	235	187	1	110	523	10	453	85.0%	273	11	169
31.1月~9月	4,464	2,170	1,451	25	818	4,411	53	3,560	79.7%	2,494	83	983
10月	368	167	141	0	60	358	10	313	85.1%	224	8	81
11月	480	223	196	2	59	479	1	438	91.3%	348	11	79
12月	443	216	119	0	108	438	5	386	87.1%	292	8	86
02.1月	220	105	66	0	49	219	1	191	86.8%	143	5	43
2月	425	209	158	1	57	424	1	352	82.8%	204	13	135
3月	414	281	74	0	59	410	4	388	93.7%	295	6	87
4月	543	295	185	0	63	528	15	489	90.1%	328	12	149
5月	367	233	77	1	56	364	3	326	88.8%	264	5	57
6月	456	292	92	0	72	447	9	412	90.4%	329	8	75
7月	456	251	118	0	87	451	5	416	91.2%	304	4	108
8月	540	296	201	3	40	534	6	480	88.9%	304	10	166
9月	407	260	86	1	60	401	6	366	89.9%	289	7	70
対前月比	75.4%	87.8%	42.8%	33.3%	150.0%	75.1%	100.0%	76.3%	-	95.1%	70.0%	42.2%
対前年同月比	76.4%	110.6%	46.0%	100.0%	54.5%	76.7%	60.0%	80.8%	-	105.9%	63.6%	41.4%
31.1~当月計	4,464	2,170	1,451	25	818	4,411	53	3,560	79.7%	2,494	83	983
02.1~当月計	3,828	2,222	1,057	6	543	3,778	50	3,420	89.3%	2,460	70	890
対累計前年比	85.8%	102.4%	72.8%	24.0%	66.4%	85.6%	94.3%	96.1%	-	98.6%	84.3%	90.5%

2 地域別新設住宅着工戸数(令和2年9月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	407	3,828	76.4%	85.8%	3,420
山形市	135	1,084	118.4%	72.8%	883
上山市	2	66	15.4%	73.3%	63
天童市	21	333	91.3%	92.2%	300
山辺町	7	39	233.3%	83.0%	36
中山町	6	28	-	82.4%	27
東南村山	171	1,550	111.8%	76.7%	1,309
寒河江市	24	208	104.3%	114.3%	206
河北町	6	61	150.0%	164.9%	61
西川町	0	1	-	25.0%	1
朝日町	0	11	0.0%	275.0%	10
大江町	1	11	-	57.9%	11
西村山	31	292	110.7%	118.7%	289
村山市	4	42	36.4%	68.9%	40
東根市	29	386	65.9%	135.0%	317
尾花沢市	2	21	100.0%	58.3%	19
大石田町	0	12	-	600.0%	12
北村山	35	461	61.4%	119.7%	388
村山地域	237	2,303	99.6%	86.8%	1,986
新庄市	13	83	162.5%	51.6%	82
金山町	0	3	0.0%	50.0%	3
最上町	0	9	-	225.0%	9
舟形町	1	8	100.0%	400.0%	6
真室川町	1	13	-	325.0%	12

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	0	3	0.0%	50.0%	3
鮭川村	0	7	-	140.0%	7
戸沢村	0	0	0.0%	0.0%	0
最上地域	15	126	83.3%	64.9%	122
米沢市	20	196	18.0%	50.6%	184
南陽市	24	128	48.0%	106.7%	112
高畠町	7	82	58.3%	103.8%	79
川西町	3	24	25.0%	40.7%	22
東南置賜	54	430	29.2%	66.7%	397
長井市	14	124	155.6%	167.6%	121
小国町	1	13	50.0%	130.0%	12
白鷹町	3	18	75.0%	72.0%	18
飯豊町	1	16	100.0%	106.7%	16
西置賜	19	171	118.8%	137.9%	167
置賜地域	73	601	36.3%	78.2%	564
鶴岡市	40	421	108.1%	118.6%	389
三川町	1	24	-	104.3%	24
庄内町	1	40	14.3%	74.1%	38
田川	42	485	95.5%	112.3%	451
酒田市	40	293	125.0%	73.3%	280
遊佐町	0	20	-	117.6%	17
飽海	40	313	125.0%	75.1%	297
庄内地域	82	798	107.9%	94.0%	748

注: 累計は令和2年1月~